

授業科目名・形態	高齢者と健康	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野 修		実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

人間の成長と発達の過程における身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を踏まえた上で、高齢者の健康について学んでいきます。また、高齢者の健康の維持はもちろんの事、病気になった際の生活に関わる支援方法や医学的対応についても、医療職と連携して実践していくための基礎的知識を学んでいきます。

【到達目標】

- 1) 高齢者の健康の意義と様々な健康についての考え方が理解できる。
- 2) 高齢者に多い症状と疾患の特徴について理解できる。
- 3) 高齢者に多く見られる疾患が、高齢者への生活にとどのように影響をもたらすか理解できる。
- 4) 高齢者の健康の維持・増進を含めた生活を支援するための方法を理解できる。
- 5) 医療職と連携して行っていく高齢者の健康づくりや疾病予防および医学的管理について理解できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 高齢者の健康とは
- 第 2 回 高齢者の健康を支える社会システム
- 第 3 回 老年症候群
- 第 4 回 高齢者の健康と介護予防およびリハビリテーション
- 第 5 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点①(骨格・筋系疾患、脳神経系疾患、循環器系疾患)
- 第 6 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点②(呼吸器系疾患、腎・泌尿器系疾患、女性生殖系疾患)
- 第 7 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点③(歯・口腔疾患、消化器系疾患、感覚器系疾患)
- 第 8 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点④(生活習慣病とメタボリックシンドローム、高血圧と糖尿病)
- 第 9 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑤(褥瘡予防対策)
- 第 10 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑥(悪性新生物疾患)
- 第 11 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑦(感染による疾患、脱水、貧血、熱中症 など)
- 第 12 回 高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑧(精神疾患)
- 第 13 回 高齢者の医学的管理
- 第 14 回 保健医療職との連携
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

エイジング論、生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ、介護の基本Ⅲ、医学一般、心理学

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会：最新介護福祉士養成講座 12「発達と老化の理解」、2019.

【参考文献】

高橋龍太郎：図解・症状からみる老いと病気とからだ、中央法規出版、2002.

【成績評価方法】

筆記試験 80%、課題レポート提出物等 20%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で、多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして、医療職と連携して介護福祉士の専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思っております。

【学生へのメッセージ】

この科目は、介護実践に必要な根拠となる心身の発達段階と老化への理解をしていくための重要な学習になります。また、人間の一生に伴う諸課題や、人間にとっての「老い」についても一緒に考えていきましょう。